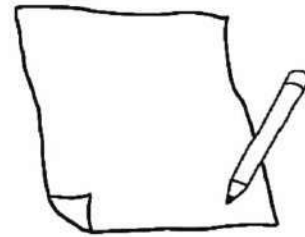
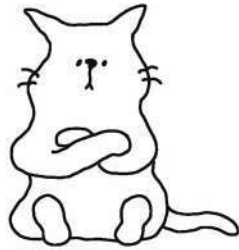


ださないてがみ

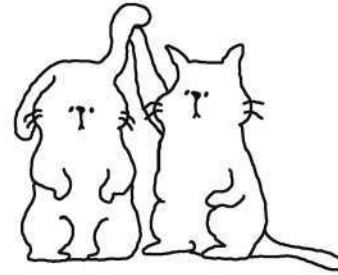
みあ



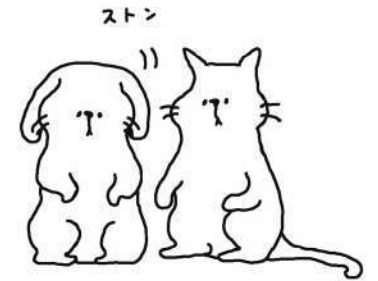
モモンガ



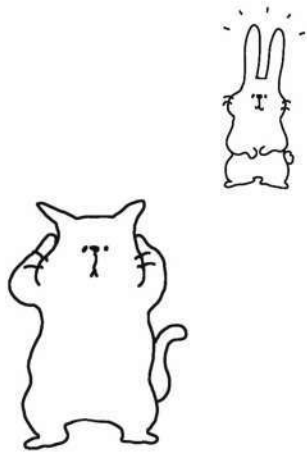
ねこのムゥはなやんでいました。



さいきんうさぎのロイのげんきがないからです。

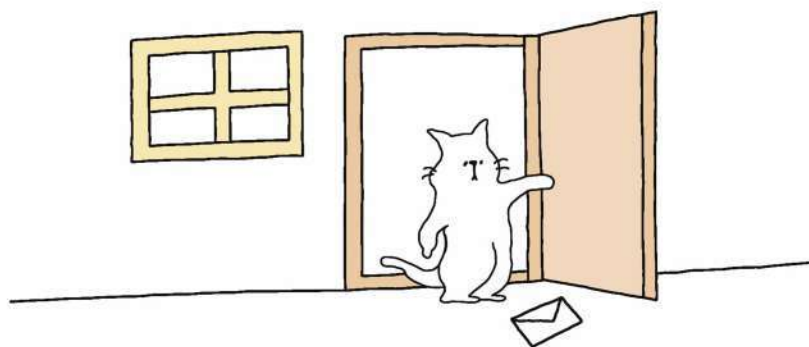


いつもぴんとたっているロイのみみ
あんなにたれさがっているんだもの。

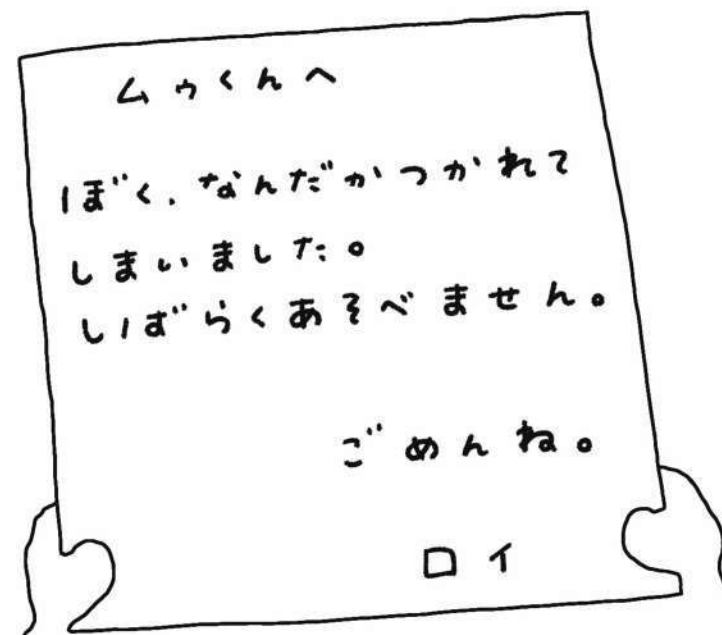


きっとかなしいことがあったんだ。
どうしたらげんきになってくれるかな？
ムゥはかんがえました。

ムウはロイのすきな
にんじんばたけにいこうとおもいつきました。

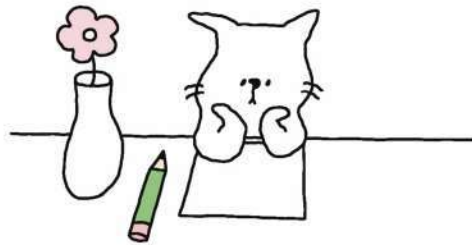


さっそくロイのいえにむかおうといえをでると…
てがみがおちていました。

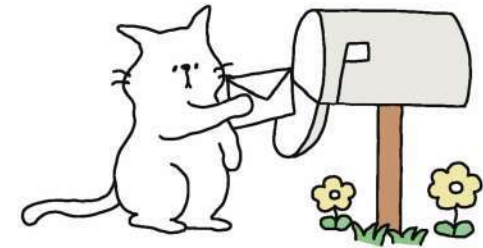


それはロイからでした。

ムゥはなんとこたえていいかわかりません。
なんじかんもしろいびんせんとにらめっこ。

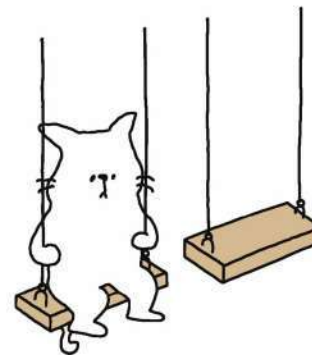
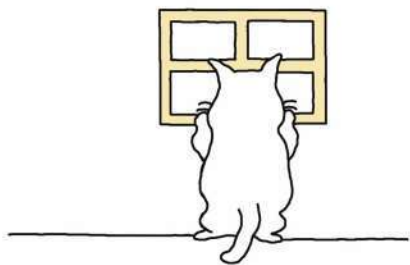
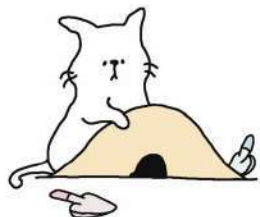


やっとのことで、みじかいおへんじをかくと



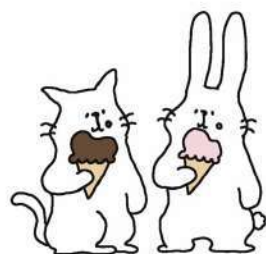
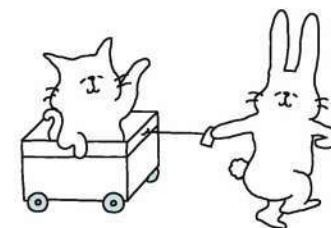
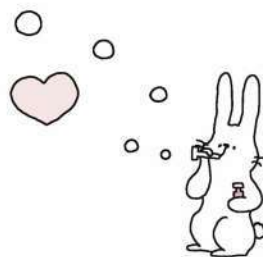
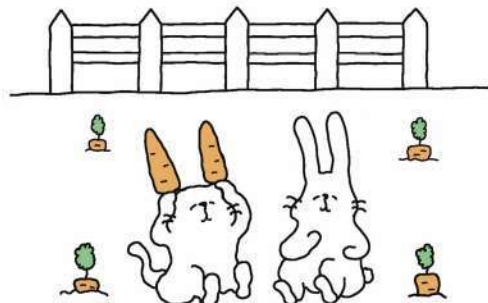
そっとポストにいれました。

それからムゥはひとりですごしました。

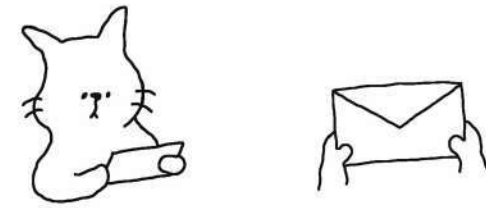
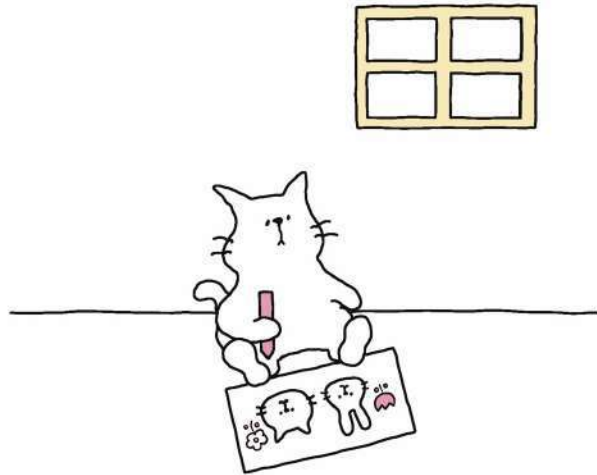


なににちも、なににちも。

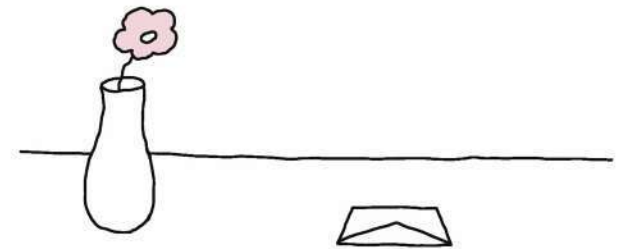
よる、ベッドにはいると
ムウはロイと
すごしたひびをおもいだしました。



はなしたいきもちがつのったムゥは、
もういちどロイにてがみをかくことにしました。

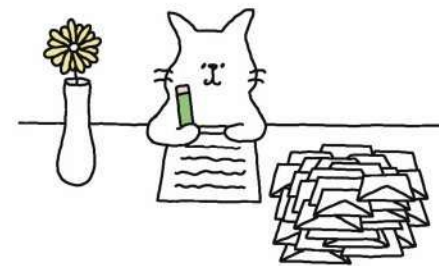
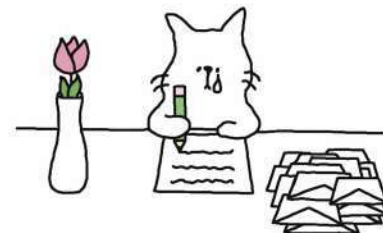
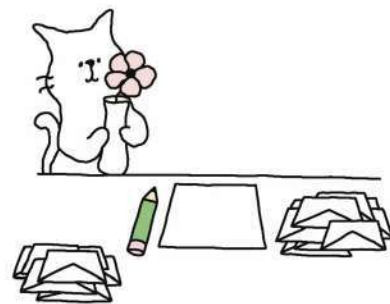
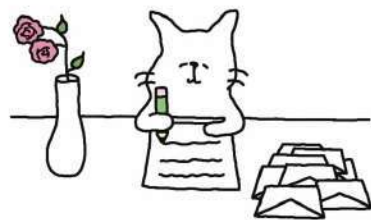


けれど、ロイのことをおもうと



それをだすことはできませんでした。

それでもムゥはてがみをかきつづけました。



またあえるひをおもって。

うれしいことや
かなしいことがあると、

かT: ...
□イクんのすきな
おはなか...
さきました。
よてもきれいです。

おもいだしました。
□イクんとまた
いっしょにいきたいた。


□イクンへ
そらをたかめ？
いT:ら □イクン
そくりのくもを
みつきました。
□イクンにも

□イクンへ
かわらさ
だす。
くんに
ら、

□イクンへ
きょうはくは
いんじんはT:けに
いきました。
□イクンといた
とき、いんじんを

□イクンへ
きょうはいちにち
あめです。
あめのあとを
ききなからすし
かんかえごとを

□イクンへ
うはあさんほ
おひさまか

びんせんをなんまいも
つかいました。

かなしくておちこんで
います。

